

ノリ陸上養殖施設整備へ

理研食品 陸前高田・脇之沢漁港に



理研食品がスジアオノリを陸上養殖するため、大型水槽25基を設置する陸前高田市の脇之沢漁港

10月にも生産を開始

海藻関連製品の製造や研究開発を手掛ける理研食品(宮城県多賀城市、渡辺博信社長)は、陸前高田市米崎町の脇之沢漁港にスジアオノリの陸上養殖施設を整備する。19日から大型水槽25基の設置に着手し、10月にも生産を始める予定。県内での海藻類の陸上養殖は珍しく、東日本大震災からの復興に歩む地域の産業振興への貢献を目指す。



同社によると、養殖施設は脇之沢漁港(沼田地区)の敷地約5千平方メートルに整備。直径8メートル、高さ0.8メートルの水槽を25基設置し、井戸から海水をくみ上げる装置を設ける。平屋の管理棟も整備する。震災前は船置き場だった。スジアオノリの採苗から収穫までのサイクルは約1カ月。稼働後は11月以降の

理研食品は、数年前からスジアオノリの陸上養殖に向けた研究に着手。一定の広さの平地があり、良質な海水を確保できることから陸前高田市への進出を決めた。同社の生産拠点は4カ所目で、県内は冷凍ワカメを製造する大船渡工場に続く拠点となる。県によると、本県は海藻類の陸上養殖は陸前高田市内でアオノリを生産する高知県の事業者に続き2例目。本県沿岸ではかつて、ノリの海面養殖が行われていたが、震災を経て途絶えていた。

市水産課の菅野泰浩課長は「本県の13日までの直近1

出荷開始を見込み、自社製品の原料としても利用する。当面は地元雇用6人を含む8人態勢。年間生産量の目標は2025年度までに乾燥品10トンとする。同社総務グループは「事業を軌道に乗せることで被災地の復興にもつなげたい」としている。

は「水産振興にプラスとなり心強い。事業が円滑に進むよう支援し、原料を使っ

県内聖火リレー感染拡大なら 知事「計画見直しも必要」

達増知事は14日の定例記者会見で、来月16〜18日に県内で開催予定の東京五輪聖火リレーについて、新型コロナウイルスの新規感染が1週間の人口10万人当たり15人を超えた場合「計画を見直す作業が必要になる」との認識を示した。

知事は「基本的には計画通りできると思っている」との現状認識を示した。公道での実施に向けて準備を進める。

JR東日本は14日の取締役会で、石田氏はJR東日

岩手日報



もに 会が開幕



さん解放 整備へ 議入りへ 決定 営の心 から30年 大臣表彰 金品受領

文化 西小説 22慶甲 23運勢

せは... オハヨー) 係... ツ事業部 019(601)4646 019(653)4121 019(653)4118 019(653)4111 平日9~17時

Weather forecast table for various locations including Miyagi, Iwate, and Tohoku regions.

IBC 6 019(623)3111 4.30買物◇買物◇買物◇買物 6.30 駅旅◇45分◇N 00多図東京ビクトリー

BS日テレ BS朝日 141 S1 142 S2 143 S3 151 S1 152 S2 4.00買物◇5.30音楽◇買物

洗濯機 OK 足の動きをスムーズに。股部分に切り替え

国土交通省は、高速道路の深夜割引を見直す。割引開始を待つトラックが都市部の料金所付近に並び、渋滞を引き起こしているためだ。適用時間帯を広げ

JR東日本は14日の取締役会で、石田氏はJR東日

久保氏は2002〜04年

見直し 解消図る 合、対象外の時間を含む料金全体が3割引きとなる。自動料金

県勢功労者の略歴 平沢 郁子氏(ひらさわ・うきこ) 盛岡養育専門学校卒

藤尾 東泉(とうせん) 東京中央会理事、16年に会長

田老一中が東日本大震災後か に出身地へ戻ろうとする同僚を